



# TRIANGLE Vol.12

## TAMA RIVER RHEUMATOLOGY, CARDIOLOGY AND PULMONOLOGY LECTURE MEETING VOL.12

多摩川から、膠原病・自己免疫性疾患と循環器疾患、呼吸器疾患について、  
3つの視点で眺めてみる

▶ OPENING REMARKS 19:30-19:40

**福西 康夫 先生** 福西内科クリニック 院長

▶ CHAIR

**長瀬 良彦 先生** 長瀬クリニック 院長

▶ ANGLE:1 19:40-20:15 「末梢動脈疾患の診断と治療」

**山内 靖隆 先生** 総合高津中央病院  
循環器内科・心臓血管センター 部長・センター長

▶ ANGLE:2 20:15-20:50 「COPDの早期診断・治療の重要性」

**高木 誠 先生** コスギコモンズクリニック 院長

▶ ANGLE:3 20:50-21:25 「糖尿病治療から見えてきた慢性腎臓病治療  
～病診連携の重要性～」

**濱野 直人 先生** 新百合ヶ丘病院 腎臓内科・透析内科 科長

▶ CLOSING REMARKS 21:25-21:35

**出川 寿一 先生** 宮前平健栄クリニック 院長

▶ TIME & DATE

2025 **11/19** (WED)

19:30-21:35

▶ PLACE

Zoomを用いたオンライン開催  
(当日もご登録頂けます)

※本講演会は Web ツールを利用したオンライン形式で開催致します。  
※講演会参加用 URL 等のアクセス情報や注意事項は、参加登録完了後にご案内致します。  
※本会案内の転送や開示、本会の録画・録音・撮影等はお控えいただきますようお願い申し上げます。  
※本会は医療従事者向けの内容となりますため、ご視聴環境についてご配慮くださいますようお願い申し上げます。

※日本医師会生涯教育講座 1.5 単位

【73：慢性疾患・複合疾患の管理 79：気管支喘息・COPD 76：糖尿病】

共催：川崎市医師会／川崎市内科医会／アストラゼネカ株式会社／小野薬品工業株式会社

# TRIANGLE Vol.12

## TAMA RIVER RHEUMATOLOGY, CARDIOLOGY AND PULMONOLOGY LECTURE MEETING VOL.12

多摩川から、膠原病・自己免疫性疾患と循環器疾患、呼吸器疾患について、3つの視点で眺めてみる

### ▶ ANGLE : 1

#### 抄録

当院ではカテーテル治療を通じて末梢動脈疾患 (LEAD) の血行再建に携わってまいりました。この分野の治療は、単なる血行再建にとどまらず、さまざまな診療科の専門家との協力が不可欠です。これらの患者様は、救肢が可能であっても生命予後が不良であるため、全身管理を含めた総合的な治療が求められていますが、現状ではそれが十分に行われていないのが実情です。そこで今回の TRIANGLE では、「末梢動脈疾患の診断と治療」をテーマに掲げ、皆様と共に深く掘り下げて議論していきたいと考えております。

### ▶ ANGLE : 2

#### 抄録

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) は潜在患者数が多いと推測されている疾患であり、適切に診断、医療介入をされていない事が多く課題となっている。COPD は早期に治療介入をすることで疾患進行を抑え、健康寿命の延長も期待できる。高血圧、脂質異常症、糖尿病などのいわゆる生活習慣病に併存することも多く、それら疾患を多く診ている実地医家の COPD 診療における役割は非常に大きい。また、COPD における気道炎症は好中球性炎症だけではなく、好酸球や ILC2 による炎症、いわゆる Type2 炎症を来していることもある。実地医家における COPD の早期診断のコツと気道炎症を意識した治療介入について概説したい。

### ▶ ANGLE : 3

#### 抄録

糖尿病性腎臓病 (DKD) は慢性腎臓病 (CKD) の主要な原因であり、その包括的管理が重要である。近年、薬物療法の4本柱 (four pillars) による早期介入が予後を改善することが示されている。しかし、薬剤の効果を最大限に引き出す土台となる塩分制限や減量には、多職種連携が欠かせない。国民の5人に1人とされる CKD 患者全例に腎臓内科医が対応するのは不可能であり、特に早期 CKD においてはかかりつけ医による介入が鍵となる。有害事象への対応力や検査機器、多職種介入しやすい環境など病院の強みも活かしつつ、医療圏で実践可能な円滑に協働しやすい体制づくりが必要であり、その一案として、我々の連携パスの取り組みも紹介する。